



なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



No.18

1学期期末試験 公民の試験範囲について

(1) ノート提出について

公民の試験当日(7月4日(木))に、ノート提出をしてください。1年生の時の歴史と同じように、ノートの左側ページのノートプリントを確実に仕上げているか、右側ページの「自分でまとめた学習内容」や「自分の意見」などを整理しているかを確認します。ノートの評価は、1学期の評定に「平常点」として組み入れます。

(2) 「なんでやねん」(用語解説編)と『ビジュアル公民』の試験範囲について

期末試験の試験範囲は、「なんでやねん」(用語解説編)では、No.4「4 持続可能な社会」、No.5「1 私たちの生活と文化の役割、2 暮らしに生きる伝統文化」、No.6「3 多文化共生を目指して」、No.7「1 社会集団の中で生きる私たち」、No.8「2 効率と公正、3 決まりを作る目的と方法」です。

「用語解説編」を必ず、よく読んで内容を自分で説明できるようにしておいてください。単語(基本用語)を覚えるだけではなく、本文全体の意味(文脈)を理解することが大切です。

『ビジュアル公民』では、p.17～p.27とp.150を試験範囲とします。特に、授業中に利用した「親族と親等」や「法とは何か? 対立から合意を導こう」と「日本の発電力構成の変化」については、必ず学習内容を確認しておいて下さい。

(3) 「なんでやねん」の試験範囲について

「なんでやねん」では、No.12～No.17までを試験範囲とします。それ以外に、国連発行「持続可能な社会のためにナマケモノにもできるアクション・ガイド」も試験範囲にします(課題作文の重要ヒント)。「婚姻届」「出生届」は「なんでやねん No.14」を復習する際に利用して下さい。特に、「なんでやねん No.15」で紹介している日本国憲法第24条の条文は必ず覚えておいて下さい。

ノートプリントの一番上に「学習目標」を書いています。必ず読んでおいて下さい。定期試験では「学習目標」にたどり着けているかどうかを評価します。

「社会問題」に対して「自分の意見」をまとめておくことが大切です。

(4) 社会事象の説明文を書くように求める問題

「人間は社会的存在」と言われます。そのことを簡単に説明できるようにしておいて下さい。

(5) 「主体的に学ぶ」(課題作文)に関すること

【作文の課題】次の4人の会話文は中学生のものです。4人が話し合っていることについて、あなたはどのような意見を持ちますか。

4人の会話をよく読んだうえで、あなたが考えることを作文しなさい。

太郎君：地球上では、今、約8億人の人々が飢えているみたい。飢えが原因で1日に死ぬ人が1日に4万人ほどいる。そのうち7割が子どもたちなんだ。腹ぺこってつらいよ。毎日だよ。

はな子さん：それなのに、日本では毎日のように、まだ食べることのできる食べ物が捨てられているって聞いたよ。

次郎君：そうだね。日本全国で多くの食料を捨ててるようだ。それも石油を使って燃やしているんだ。

はな子さん：それから、こんなことも勉強したよ。先進国では穀物よりも肉食中心の食生活になっていて、多くの家畜を飼育している。その家畜の飼料(エサのこと)に大量の穀物を与えているって。

たけ子さん：何か変よね。先進国で大量に飼育されている、ブタや牛が穀物を食べて太っていて、発展途上国では多くの人たちが飢えているなんて。私は、先進国が肉食をやめれば、発展途上国にも穀物が行き渡ると思うわ。

次郎君：そうかなあ～、肉を食べないと動物性タンパク質が取れない。丈夫な体を作ったり、健康な体を維持するのに肉食は必要だよ。僕は肉を食べたいと思う。どう考えたら良いんだろう。

はな子さん：私たちが健康なのは肉食ができているからよ。迷うけど、私たちの生活が優先だから仕方ないのかなあ～。

たけ子さん：でも、飢えている子どもたちのことを考えると不公平だわ。私たちは毎日のように肉を食べているけど、食べ物が全然ない所に生まれた子どもたちは、肉どころか穀物も食べることができていないのよ。

太郎君：僕たちにも責任があるような気がする。どうしたら、地球上で飢えている人々を減らすことができるんだろう。

たけ子さん：そうよね。飢えている多くの人たちのために、どうしたら食べ物を少しでも増やすことができるのかなあ～。日本の国全体でできることや、私たち一人ひとりにできることって何があるんだろう。